

自 己 評 価 表

愛媛県立弓削高等学校

学校番号(18)

教育方針	徳・知・体の調和のとれた、人間性豊かで、心身ともにたくましい人間の育成を目指します。	重点目標	「ふだんを少し、変えてみよう。人生大きく、変わるかも！」
------	--	------	------------------------------

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学習指導	家庭学習習慣の確立	面談を充実させ、1年時からの習慣付けと課題の工夫により、平常時の家庭学習時間を 120分以上 にし、日々記録を取る。 A : 120分以上 B : 119分～ 90分 C : 89分～ 60分 D : 59分～30分 E : 30分未満	B	時間的な目標が達成できたのは、1年生と2・3年生の進学類型(Ⅱ型)であった。就職等の類型(Ⅰ型)は、2・3年生ともに120分以上の目標を達成できておらず、継続的な指導と、学習時間管理の工夫がより必要である。	・就職等の類型(Ⅰ型)の生徒には、積極的に資格取得などを促し、家庭学習時間を確保できるよう、適切な課題を与えるなどして学習習慣を身に付けさせる。
	教員の資質・能力の向上	生徒理解に努め、個に応じた指導を充実させる。授業評価アンケートで3.6以上と評価される教科の割合を 80%以上 にする。 A : 80%以上 B : 79%～ 70% C : 69%～ 60% D : 59%～ 50% E : 50%未満	A	1学期が90%、2学期は100%の教科で3.6以上を達成した。2学期は3.7以上が80%となり、昨年度に比べて全体的に評価が高くなっている。	・教員の入れ替わりが多かったが、昨年度との比較で数値が上がった。引き続き、本校の生徒に応じた指導法を研究し、改善していく。
		校内や校外で行われる研修会(オンラインも含む)に積極的に参加し、研修で得た成果を校内で共有する場を 年8回以上 設ける。 A : 8回以上 B : 7名 C : 6回 D : 5回 E : 5回未満	A	交通安全研修、情報セキュリティ研修、心肺蘇生法実技講習会など毎年実施しているものに加え、県総合教育センターの出前講座も活用して、様々な研修を1年間で13回実施できた。	・次年度以降も、計画的・継続的に研修を実施していく。校外の研修会はオンラインのものも増えているので、積極的に参加し、得た情報を他の教員とも共有できる仕組みを確立していく。
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	年間欠席日数10日未満の生徒 80%以上 を目指し、心身ともにたくましい生徒の育成を図る。 A : 80%以上 B : 79%～ 70% C : 69%～ 60% D : 59%～ 50% E : 50%未満	B	2・3年生は80%以上の達成率であったが、全体としては78.8%の達成率となり、目標に届かなかった。学年によってばらつきがあり、1年生は県外生が増えたことで、まとまって帰省する生徒がおり、全体的に欠席が多くなっている。	・今後も県外生が多くなるので、初期指導をしっかりと、欠席を減らす工夫をしていく。
	規範意識の高揚	自らが考えて、交通安全や身だしなみ等の規範意識を高めることができる生徒の育成を図る。 <u>身だしなみ指導で一発合格率90%以上を目指す。</u> A : 100%～ 90% B : 89%～ 80% C : 79%～ 70% D : 69%～ 60% E : 60%未満	A	自転車安全点検等での交通安全指導や、サイクリングガイドのイベントを実施するなど、交通安全に対する意識の向上を図った。また、身だしなみ指導は、自分で考えて身だしなみを整える習慣付けを行い、毎回不合格者は少数であり、目標は達成できている。	・地域と連携してサイクリングの推進を図るとともに、交通安全についても啓発活動を実施する。 ・身だしなみ指導がなくても、常に整えられるよう指導していく。
	人権・同和教育の充実	人権デーの充実や地域の「ふれあい学習会」を通じて、自他の生命の尊さや人権尊重の意識を持たせる。 <u>学校評価アンケートで、90%以上の生徒が肯定意見になるよう目指す。</u> A : 100%～ 90% B : 89%～ 80% C : 79%～ 70% D : 69%～ 60% E : 60%未満	A	毎月の人権デー、ふれあい学習会、人権・同和教育講演会などを通して、人権意識を啓発することができた。学校評価アンケートは、92%の生徒が肯定意見となり、人権・同和教育の視点に立った教育が推進できている。	自校だけでなく、小中学校の「地域ふれあい学習会」や「あいあいフェスタ」など、上島町が主催するイベントに、生徒が積極的に参加できるよう呼びかける。

(様式1)

自 己 評 価 表

愛媛県立弓削高等学校

学校番号(18)

教育方針	徳・知・体の調和のとれた、人間性豊かで、心身ともにたくましい人間の育成を目指します。	重点目標	「ふだんを少し、変えてみよう。人生大きく、変わるかも！」
------	--	------	------------------------------

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
進路指導	進路実現への意識の高揚	生徒の興味・関心を意識し、進路ガイダンスなどのキャリア教育の充実を図りながら、早期に進路目標を明確にする生徒 100% を目指す。 A : 100% B : 99%～ 90% C : 89%～ 80% D : 79%～ 70% E : 70%未満	B	進路ガイダンスは年間2回実施し、今年度は2年生全員と1年生の希望者がインターンシップを実施し、キャリア教育を充実させた。進路目標が明確になるよう指導したが、1年生で1名だけ進路に迷っている生徒がおり、100%は達成することができなかった。	年間2回の進路ガイダンスは継続して行い、面談などを充実させ、生徒の進路を早期に決定できるよう指導していく。
	就職・進学指導の充実	生涯を見通した人生設計ができる生徒を育成し、一人ひとりにきめ細やかな指導を行い、進路希望達成率 100% を目指す。 A : 100% B : 99%～ 90% C : 89%～ 80% D : 79%～ 70% E : 70%未満	B	進学希望者1名の進路が卒業までには決定しなかったが、海外の大学への進学を希望しており、今後の見通しは立っている。最終的には就職希望者は進路希望達成率100%となった。卒業生24名のうちほとんどの生徒が希望どおりの進学先、就職先に進んだ。	就職希望者の面接指導や、大学進学希望者の教科指導や面接指導など、全教職員が組織的に指導を行う体制を構築することができたため、来年度も継続して行う。
特別活動	学校行事の充実	学校行事で積極的に活動する生徒を目指し、一人ひとりが輝ける場面をつくる。 <u>学校評価アンケートで、90%以上の生徒が肯定意見になるよう目指す。</u> A : 100%～ 90% B : 89%～ 80% C : 79%～ 70% D : 69%～ 60% E : 60%未満	A	今年度は99%の生徒が肯定意見であった。少人数であるため一人ひとりに役割があり、主体的に学校行事に関わることで、活躍できる場面を作ることができた。	全員の生徒が満足する学校行事になるよう、適材適所で役割分担する。
	地域と密着した教育の推進	地域創生に関する課題研究を2件以上実施し、地域を元気にする活動等へ一人年間 5回以上 参加することにより、社会や地域に貢献できる人材を育成する。 A : 5回以上 B : 4回 C : 3回 D : 2回 E : 2回未満	C	コロナ禍以降、「地域を元気にする活動等」自体の総数が減少したため、目標達成できなかった(3.6回)が、コロナ前の状態に少しずつ戻りつつある。様々なボランティアの要請には積極的に参加しており、地域の方や参加者からの評価は高い。	生徒自身が「地域を元気にする活動等」を創造できるように促す。
教育全般	魅力ある学校づくり	地域人材を活かした教育活動を展開することで、魅力ある学校づくりを推進するとともに、上島町の中学3年生の総数に対する本校への入学生徒の割合 65%以上 を目指し、また、県外からの入学生を確保する。 A : 65%以上 B : 64%～ 55% C : 54%～ 45% D : 44%～ 35% E : 35%未満	B	上島町の中学3年生は57%の出願となり、昨年と比べると大幅に回復したが、目標は達成できなかった。しかし、地域みらい留学の募集を積極的に行い、県外(因島含む)からの出願者数も多く、全体の出願者数は36名となった。	令和6年度の上島町の中学2年生は21名であり、目標の65%(14名)以上の入学を目指し、県外からは引き続き20名前後の入学を目指す。
業務改善	適切な勤務時間	教職員の勤務時間を守り、休憩時間を確保する。業務の効率化を図り、時間の有効活用を図る。	B	勤務時間外在校時間が多い教員が増えており、毎月の勤務時間報告書で自身の勤務時間の状況を把握し、校務の適正化や心身のリフレッシュを図るよう周知した。	No残業デーを徹底し、長時間労働を改善できるよう、業務の効率化を目指す。
	職場環境の整備	健康管理医による健康相談等を定期的 to 実施し、教職員の疲労や心理的負担の軽減を図る。	B	教職員厚生室からの「健康相談室だより」やメンタルヘルス関係事業・福利厚生制度に関する文書を閲覧し、積極的に活用できるよう情報提供を行った。	健康管理医による健康相談の定期的な実施を検討し、メンタルヘルスケアの向上に努める。

※ 評価は5段階(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった)とする。